

忘れちゃうからまた聞きに来る。それに付き合うのが仕事



相談者にタブレットの使い方を説明する
今安さん(右) 撮影・西向智明

NPO法人「シニアSOHO普及サロン・三鷹」今安知成

携帯電話でありながら、カメラの代わりになり、財布の代わりになったり、スマートフォン(スマホ)には年々、新たな機能が追加される。便利にならぬことはなっているが、高齢者にとっては操作が複雑で、行けず、ただ高い携帯電話になってしまふ。使いたくては使えない。そんな時に頼りになつたのは、同年代のスマホ講師だつた。

(西向 智明)

携帯電話でありながら、カメラの代わりになり、財布の代わりになったり、スマートフォン(スマホ)には年々、新たな機能が追加される。便利にならぬことはなっているが、高齢者にとっては操作が複雑で、行けず、ただ高い携帯電話になつてしまふ。使いたくては使えない。そんな時に頼りになつたのは、同年代のスマホ講師だつた。

参加者60~80代質問基礎ばかりで、今安知成(ともよし、70)はスマホ、タブレットの使い方に関する個別相談会を開いていた。

相談者の男性(79)は、メールアドレスが変わったことを一斉送信したいと質問していた。今安はパソコン

タブレットを持って話を聞く相談者の男性(79)は、メールアドレスが変わったことを一斉送信したいと質問していた。今安はパソコン

で分かる話でも、何度も繰り返し説明しなければならない

の画面を見せながら、実際にタブレットを操作させ、「このボタンを押すと連絡先が開くので」と、丁寧に説明していく。相談会の時間、1時間30分全てをメールの送り方に費やしたが、男性は満足そうに帰っていた。

参加者は大半が60~80代。東京都三鷹市の産業プラザで、今安知成(ともよし、70)はスマホ、タブレットの使い方に関する個別相談会を開いていた。

「本当に基礎的な事ばかりで、『本当に基礎的な事ばかり』という。若い人なら1回

で分かる話でも、何度も繰り返し説明しなければならな

い。一度理解しても忘れち

うから同じことをまた聞きに来る。それに付き合うのが仕事です」と笑った。

高齢者の地域生活を支援するNPO法人「シニアSOHO普及サロン・三鷹」のパソコン・携帯部門を担当。団体

で地域相談会を開いたりして個人で講座を開いたりしている。「携帯ショップ」を持って行つても、若い店員さんだと年寄りの話を理解できない。同世代が教えてあげるのが一番いいんです」と笑った。

高齢者も地域生活を支援するNPO法人「シニアSOHO普及サロン・三鷹」のパソコン・携帯部門を担当。団体

で地域相談会を開いたりして個人で講座を開いたりしている。「携帯ショップ」を持って行つても、若い店員さんだと年寄りの話を理解できない。同世代が教えてあげのが

いいと思う」。文字を大きくするアプリなど、高齢者でも楽しめるようスマホに機能を加えることはできる。しかし、購入店舗では初期設定すらしてもらえないことが多いといい、「アプリを使う前の段階でつまづいてしまう。ちゃんと使える状態で渡してあげてほしい」と話した。

4で、スマホ歴は6年になる。今ではインターネット上にファイルを保存できるクラウドサービスなども使いこなしており、スマホの画面にはたくさんさんのアプリが並んでいた。

高齢者がスマホを使うことにはどんなメリットがあるのか。聞いてみると「すごく頭

いいと思います」と話した。今安が音声を文章に変換する機能を使い「スポーツニッポン」と話すと、画面には「ボーッ」と日本」と書かれていた。「この年になると滑舌も悪くなるので、『ズ』が聞き取りづらいのかなとか、こういうところもスマホから学べます」と語った。

高齢者だからといって、それらが使えないわけではありません。教えてくれる人がいることができる。高齢者がスマホを使いこなし、シニア世代が元気だと取り上げられる。今安たちはそんな将来を感じさせてくれた。

孫と「LINEも日常便利に使っている。高齢者もん終了している。高齢者もスマホを使わざるをえない状況だ。「スマホを使うと自分で便利だし、すごく良いこと。お孫さんとLINEができるのはすごく嬉しいと思う」。文字を大きくするアプリなど、高齢者でも楽しめるようスマホに機能を加えることはできる。しかし、購入店舗では初期設定すらしてもらえないことが多いといい、「アプリを使う前の段階でつまづいてしまう。ちゃんと使える状態で渡してあげてほしい」と話した。

高齢者だからといって、それらが使えないわけではありません。教えてくれる人がいることができる。高齢者がスマホを使いこなし、シニア世代が元気だと取り上げられる。今安たちはそんな将来を感じさせてくれた。

孫と「LINEも日常便利に使っている。高齢者もん終了している。高齢者もスマホを使わざるをえない状況だ。「スマホを使うと自分で便利だし、すごく良いこと。お孫さんとLINEができるのはすごく嬉しいと思う」。文字を大きくするアプリなど、高齢者でも楽しめるようスマホに機能を加えることはできる。しかし、購入店舗では初期設定すらしてもらえないことが多いといい、「アプリを使う前の段階でつまづいてしまう。ちゃんと使える状態で渡してあげてほしい」と話した。

内閣府の16年高齢社会白書によると、日本の総人口における65歳以上の割合は26・7%で、今後も増え続けるとされる。一方、スマートフォンなど電子機器は年々機能が増え、扱いが難しくなっている。

高齢者だからといって、それらが使えないわけではありません。教えてくれる人がいることができる。高齢者がスマホを使いこなし、シニア世代が元気だと取り上げられる。今安たちはそんな将来を感じさせてくれた。

II 敬称略

スマートギフトの先生は

相談者にタブレットの使い方を説明する
今安さん(右) 撮影・西向智明

相談者にタブレットの使い方を説明する
今安さん(右) 撮影・西向智明

相談者にタブレットの使い方を説明する
今安さん(右) 撮影・西向智明

相談者にタブレットの使い方を説明する
今安さん(右) 撮影・西向智明

II 敬称略

収入は…ボランティア感覚

今回の個人相談会の料金は1500円。会場などで料金は前後するが、「だいたいこのくらい。電車賃程度の収入です」と苦笑い。シニアSOHO普及サロン・三鷹には

現在、11人の講師があり、月に2、3回、講座や相談会を開催している。個人でも講座や説明会を開く今安の手帳には予定がびっしり詰まっていたが、「月収と呼べるほどではないですね。ボランティア感覚でやっています」と話した。